

①企業を対象とした「人材確保に関するアンケート」

調査期間：令和 7 年 3 月 14 日（金）～3 月 28 日（金）

調査方法：堺商工会議所会員事業所 800 社へのアンケート

②子育て中の方を対象とした「就労に関するアンケート」

調査期間：令和 7 年 2 月 28 日（金）～3 月 7 日（金）

調査方法：株式会社マミー・クリスタル会員向け LINE アンケート

①②のアンケート項目のうち、類似した質問項目（「人員確保・働く上で必要な事」「ワークライフバランスで必要と考える事」）について、比較を行った。

※比較にあたり、②は、「子育てと仕事の両立に悩みがある方」の回答結果を活用

まとめ：

子育て中の方は、就職にあたり賃金以外の面も重視しているが、その認識をもつ企業は、子育て中の方に比べると少ない。

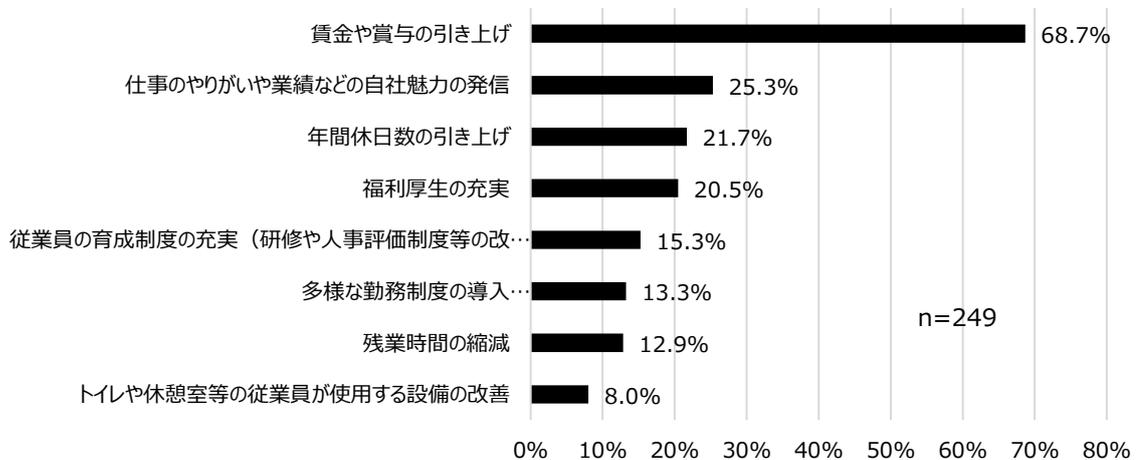
就職・採用、そして定着という面から、求職者や就業者が賃金のほか、仕事と家庭の両立に向けた制度や福利厚生、残業の有無等についても重視していることを企業へ周知する必要がある。

[人員確保・働く上で必要な事]

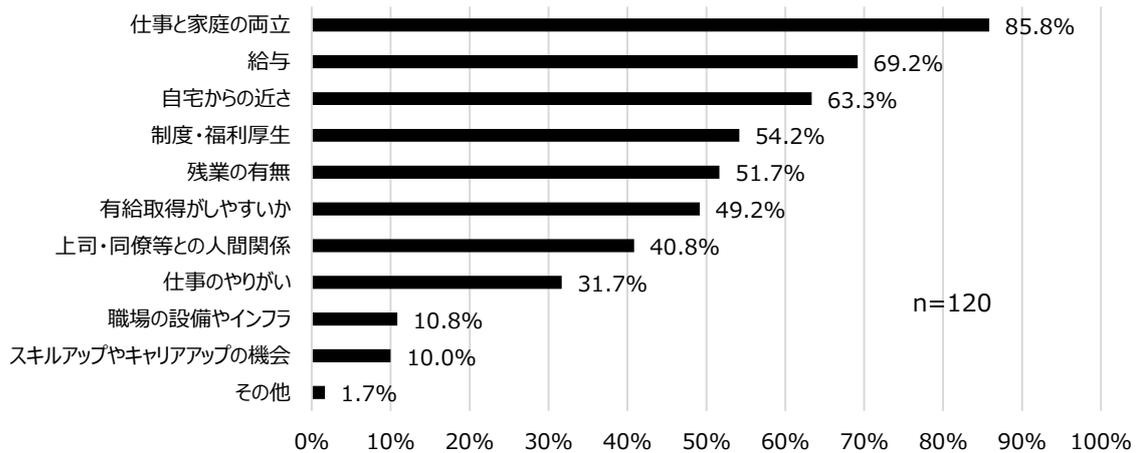
企業が「人員確保にあたり必要と考える事項」では、「賃金や賞与の引き上げ」が約 7 割と突出した一方、「年間休日数」や「福利厚生の充実」、「残業時間の縮減」は、1～2 割程度であり、金銭面以外の項目を選ぶ企業は比較的少ない結果となった。

一方、子育て中の方が「働く上で重視・優先すること」では、「給与」が企業の回答と同様に約 7 割と高い水準だったが、「仕事と家庭の両立」が約 9 割、福利厚生や残業、有給休暇に関する項目も 5 割程度の回答と金銭面以外のことも選ぶ方が多かった。

<企業> 人材確保にあたり必要と考える事項（複数選択可）



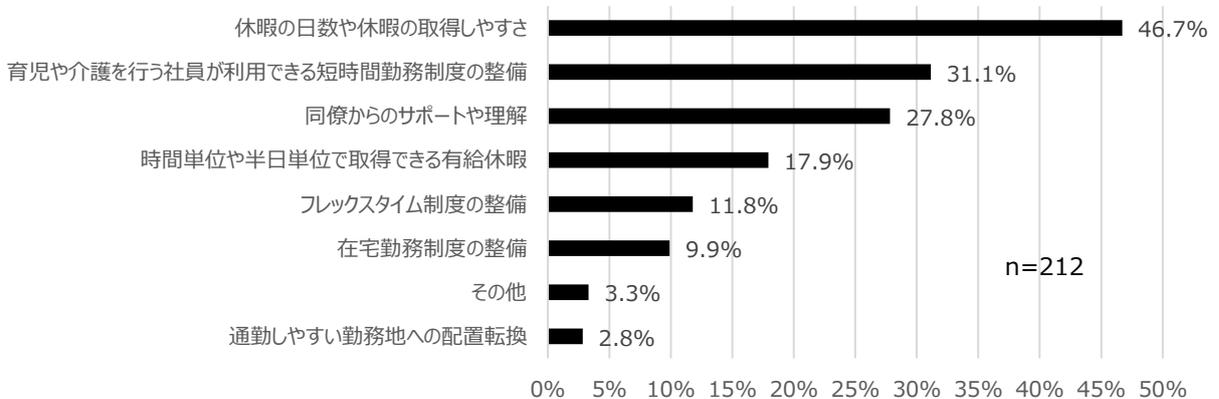
<子育て中の方> 働く上で重視・優先すること（複数選択可）



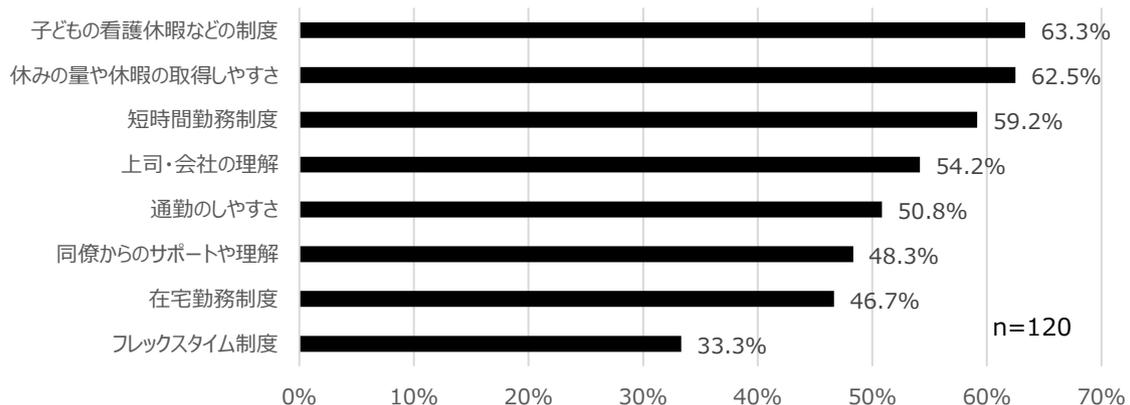
[ワークライフバランスで必要と考える事]

企業が「従業員（育児や介護等の家庭の事情を抱える社員）のワークライフバランスに関し、必要と考える事項」では、休暇の取得しやすさや短時間勤務制度の整備など、回答が多い項目の順番は類似している。しかし、在宅勤務制度に関しては、企業側では 1 割程度である一方、子育て中の方は約 5 割が必要と回答するなど、全般的に回答割合は子育て中の方の方が高い。

<企業>（育児や介護等の家庭の事情を抱える社員）のワークライフバランスに関し、必要と考える事項（複数選択可）



<子育て中の方> 仕事と家庭の両立のために職場に求めるもの（複数選択可）



①企業を対象とした「人材確保に関するアンケート調査」集計結果

調査概要

- 調査目的 : 市内企業の人材確保に関するニーズ等を把握し、今後の施策等の検討資料として活用するため。
- 調査期間 : 令和7年3月14日(金)～令和7年3月28日(金)
- 調査対象 : 堺商工会議所会員事業所 800 社
- 調査対象数 : 800 社
- 有効回答数 : 408 件
- 回答率 : 51.0%

回答企業の属性について

回答企業における業種内訳は以下のとおり。

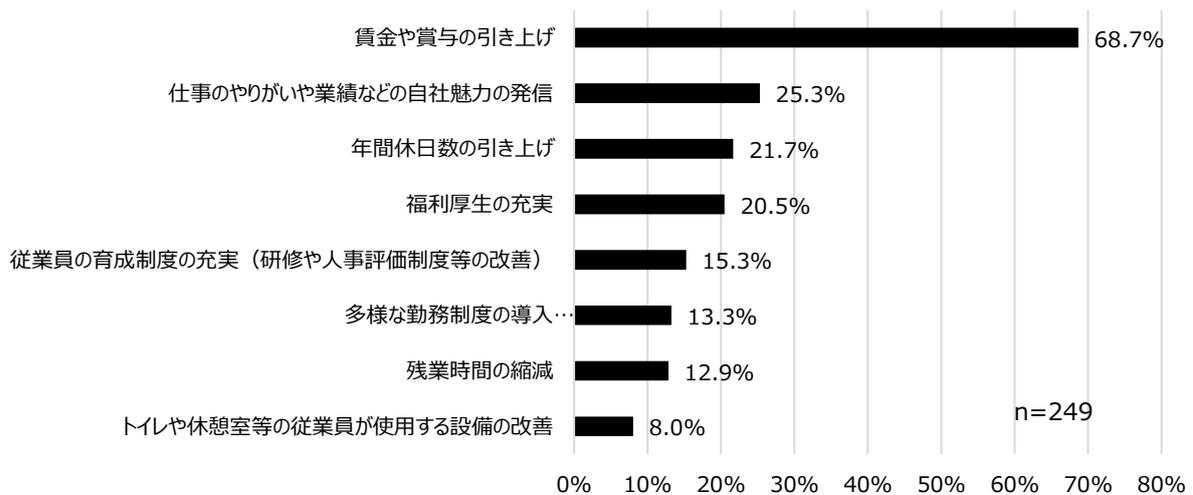
業種	回答数(社)
建設業	100
製造業	105
卸売業	50
小売業	51
サービス業	102
合計	408

調査結果

人材確保について

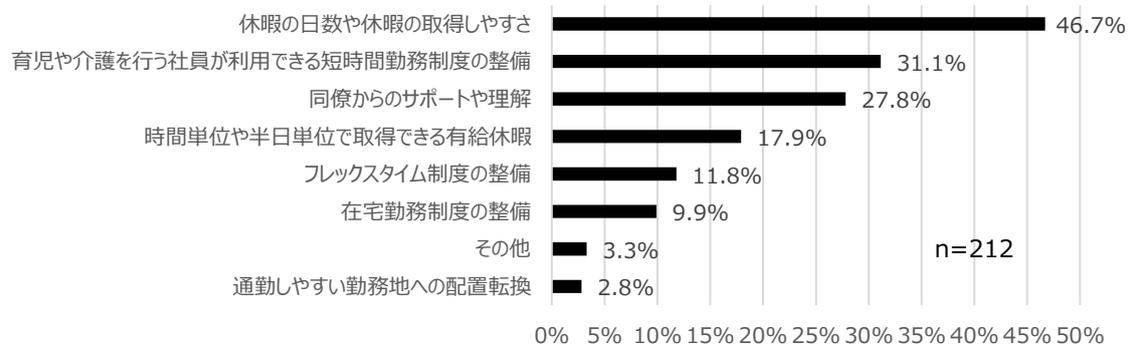
(1) 人材確保にあたり必要と考える事項を教えてください。

■ **約 7 割の企業が「賃金や賞与の引き上げ」**。次いで、**約 3 割の企業が「仕事のやりがいや業績などの自社の魅力発信」**、**約 2 割の企業が「年間休日数の引き上げ」「福利厚生充実」**。金銭面での待遇改善が突出した結果となった。その一方、残業「時間の縮減」は約 1 割と比較的少ない。



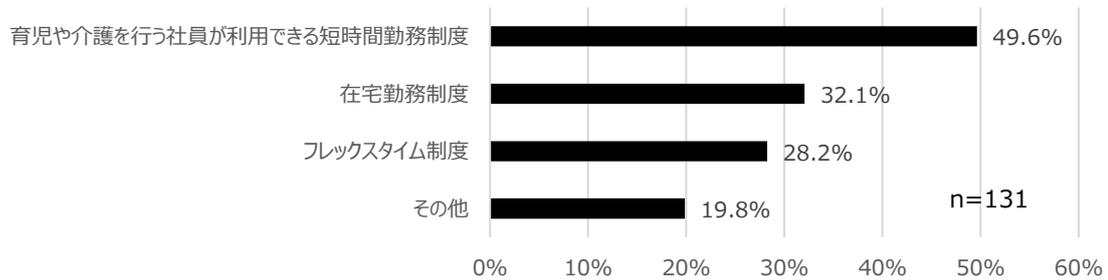
(2) 従業員（育児や介護等の家庭の事情を抱える社員）のワークライフバランスに関し、必要と考える事項を教えてください（複数選択可）

■ **約 5 割の企業が「休暇の日数や休暇の取得しやすさ」**を選択し、次いで**約 3 割の企業が「育児や介護を行う社員が利用できる短時間勤務制度の整備」**を選択している。一方、「在宅勤務制度の整備」は**約 1 割と必要と考える企業は比較的少ない**



(3) 運用している勤務制度を教えてください（複数選択可）

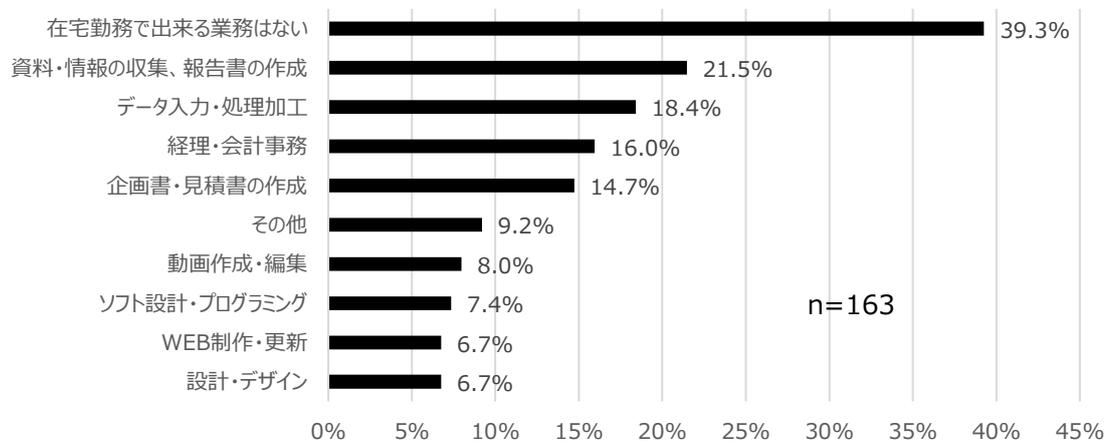
■約5割の企業が「育児や介護を行う社員が利用できる短時間勤務制度」を選択し、次いで約3割で「在宅勤務制度」・「フレックスタイム制度」を選択している。



「その他」を回答し、内容の記入があったもの：産後パパ育休、時間単位の有給、半日単位で取得できる有給

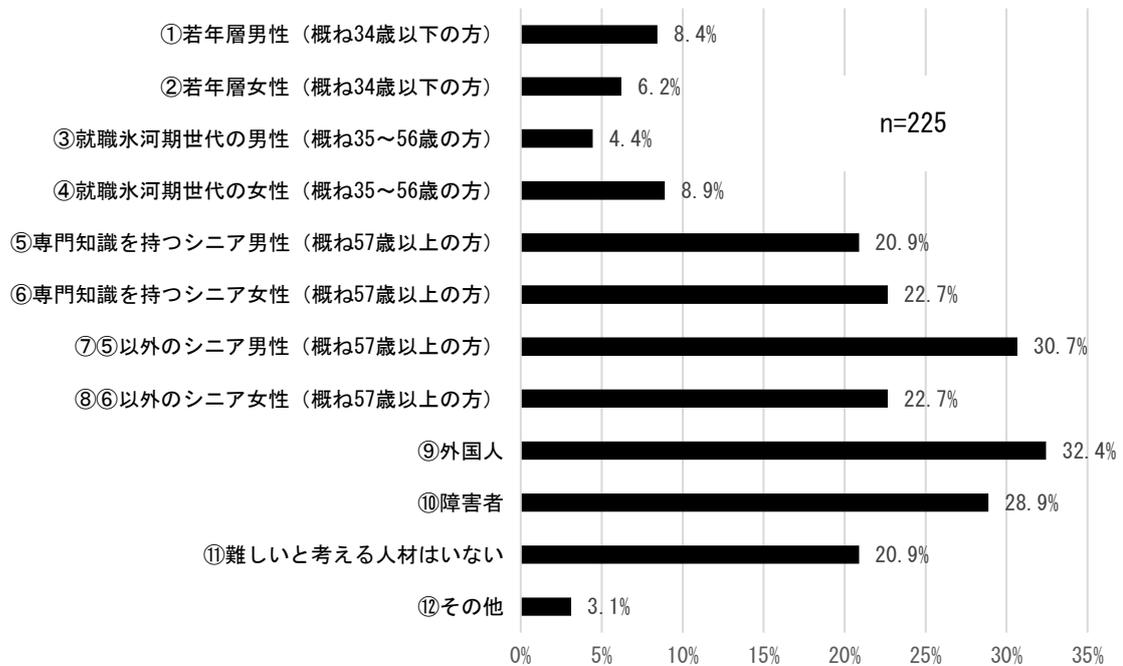
(4) 在宅勤務で行っている（行うことが可能な）御社の業務を教えてください（複数選択可）

■約4割の企業が「在宅勤務で出来る業務はない」を選択し、次いで約2割の企業が「資料・情報の収集、報告書の作成」・「データ入力・処理加工」・「経理・会計事務」を選択している。「在宅勤務で出来る業務はない」を選択した企業の業種ごとのバラツキがあり、建設業・製造業が約5割、小売業が約4割、卸売業が約3割、サービス業が約2割となった。



(5) 応募があっても、御社では採用することが難しいと考える人材をお答えください。（複数選択可）

■約3割の企業が「外国人」・「専門的知識を持たないシニア男性（概ね57歳以上の方）」・「障害者」を選択した一方、若年者（概ね34歳以下）や就職氷河期世代（概ね35～56歳の方）は性別に関わらず選んだ企業は1割以下と少なかった。



「その他」を回答し、内容の記入があったもの：伝統技術の継承できる人のみ採用している（利器工器具・手道具製造業）

②子育て中の方を対象とした「就労に関するアンケート」 集計結果

実施概要：女性の就労を増やすことを目的として、子育て中の方に対してアンケートを実施した
(株式会社マミー・クリスタルによる会員向け LINE アンケート)。

実施期間：令和7年2月28日～3月7日

回答数：150人

質問：「子育てと仕事の両立で悩みはあるか」を聞いた上で、悩みがある方、無い方別に各質問を実施（悩みがある：120人（80%）、無い30人（20%））。

悩みがある方の回答要約

・悩みの上位には、「会社の理解」、「通勤時間」、「就業時間が長い」、同僚の理解」が挙げられており、背景として、企業や社会全体での子育て世代の働き方に対する理解不足が考えられる。

・また、悩みがある方のうち、85.8%の人が働く上で「仕事と家庭の両立」を重視しており、そのために職場に求めるものとして、「子どもの看護休暇等の制度」、「休みの量や休暇の取得しやすさ」を上位に挙げていることから、職場に対して子育てをしながら働くための制度整備や柔軟性を求めていることがわかる。

・女性の就労を増やすためには、仕事と家庭の両立に対する支援が不可欠であり、そのためには、企業に対する柔軟な働き方の普及や、仕事と家庭（育児等）を両立するための制度整備を促進していくことが必要である。

悩みがない方の回答要約

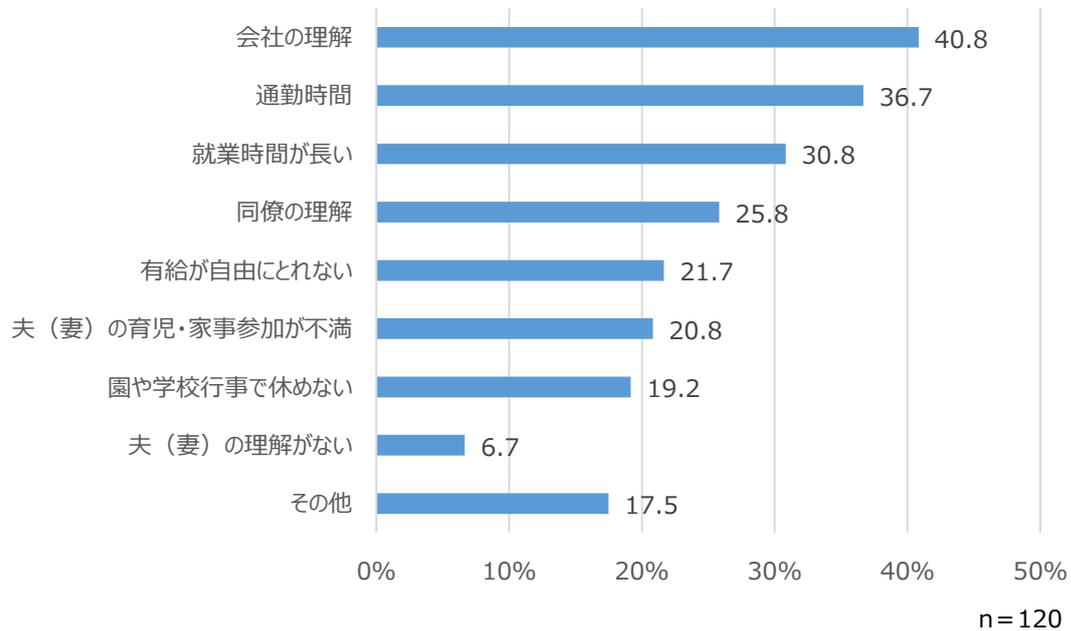
・悩みがないと答えた人の半数が「働いていない」人であった。

・悩みがない人も、仕事と家庭の両立のために、「短時間勤務制度」や「休みの量や休暇の取得しやすさ」等の働く時間に関する制度整備を求めていることがわかるが、悩みがある人に比べると「上司・会社の理解」を挙げた人は少なかった（悩みがある人の54.2%が選択していたのに対して、悩みがない人は33.3%の選択にとどまった）。

・柔軟な働き方や、仕事と家庭（育児等）を両立するための制度整備を進めつつ、悩みを少しでも軽減して働いてもらうためには、上司や会社の理解が重要であることを改めて認識し、企業に対しても周知していく必要がある。

【悩みがある】回答者(120人)に対するアンケート

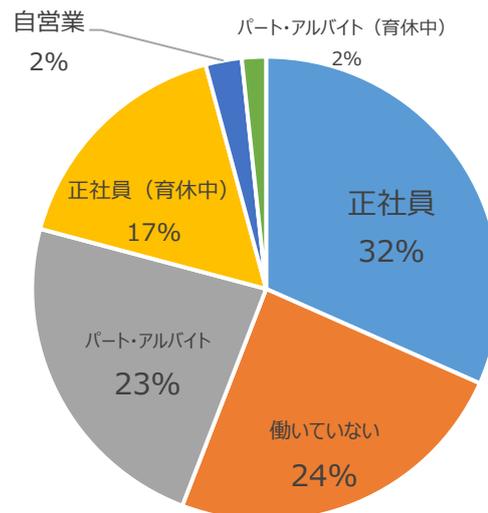
問1：どんな悩みがありますか？（複数選択）



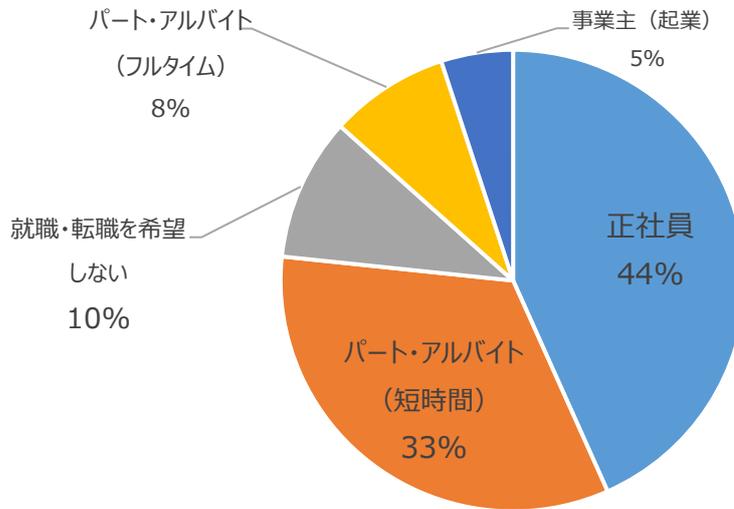
「その他」回答内容

- ・4月から育休から復帰で両立できるのか不安
- ・仕事はしたいが自分が休む時間や日がない
- ・子ども達には手がかからなくなってきたが何かと時間をとられて働く時間が自由にならない

問2：現在の雇用形態（単一選択）



問 3：就職・転職を希望する場合の雇用形態等（単一選択）



n = 120

問 4：3 を選んだ理由（自由記述）

【正社員を選んだ理由】

- ・いつ契約が切られるか分からない不安を抱きたくない
- ・安定した収入が欲しい
- ・福利厚生が充実している

【パート・アルバイト（短時間）を選んだ理由】

- ・育児と家事プラス仕事を全て両立するためにはフルタイムだとキャパオーバーになる
- ・子育てしながらフルタイムで働ける自信がない
- ・子どもとの時間をできるだけ長く取りたい

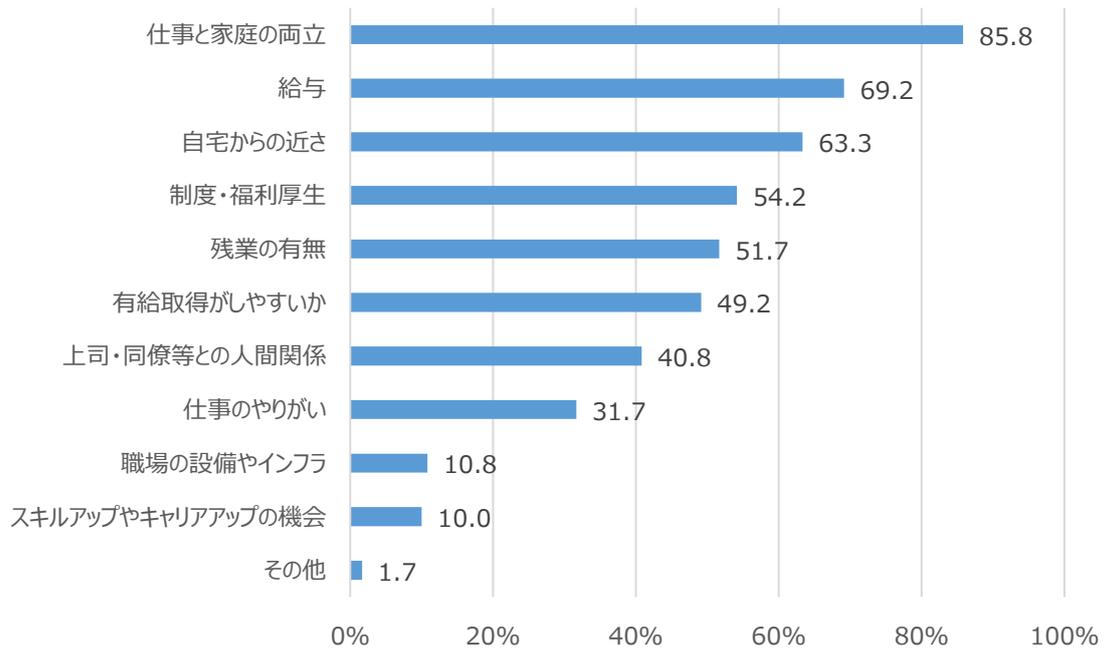
【事業主（起業）】

- ・子どもが体調不良の時に対応しやすそう
- ・時間の自由がきく

【就職・転職を希望しない】

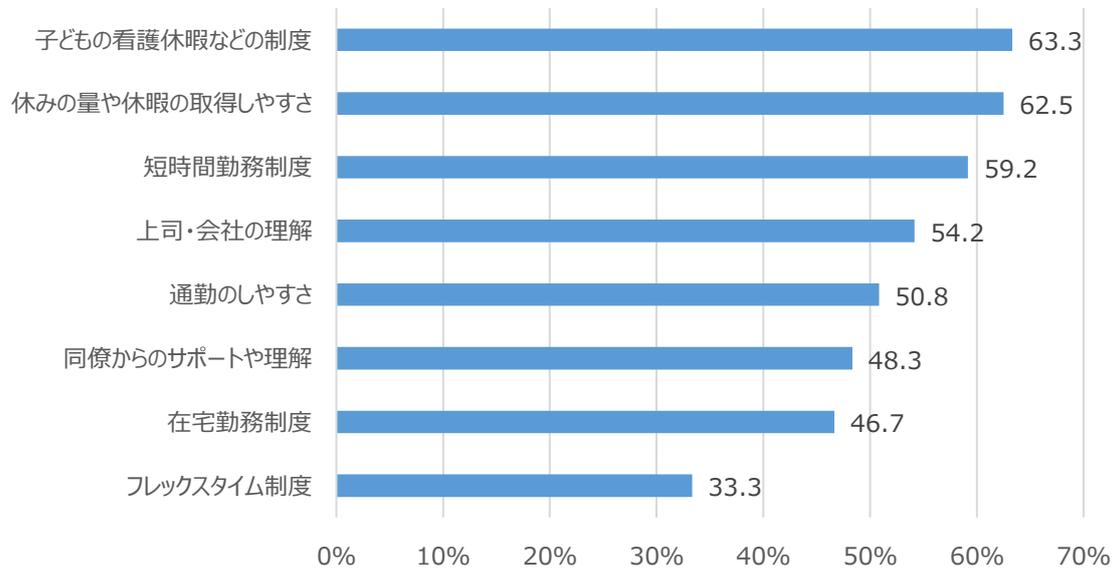
- ・今よりもよい条件は難しいと考える

問 5 : 働く上で重視・優先すること (複数選択)



n = 120

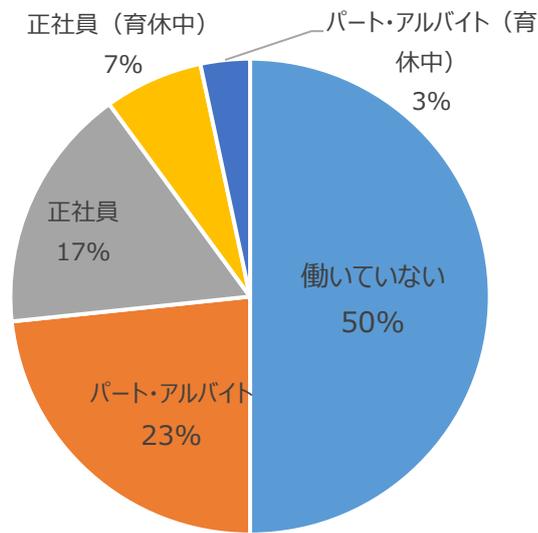
問 6 : 仕事と家庭の両立のために職場に求めるもの (複数選択)



n = 120

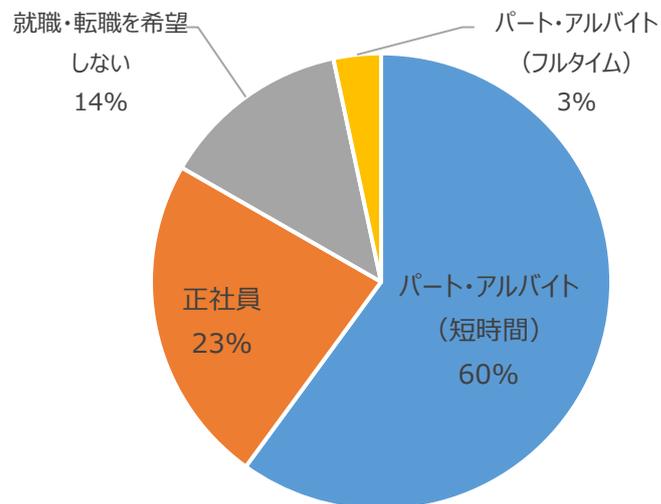
【悩みがない】回答者(30人)に対するアンケート

問1：現在の雇用形態（単一選択）



n=30

問2：就職・転職を希望する場合の雇用形態等（単一選択）



n=30

問 3 : 2 を選んだ理由 (自由記述)

【正社員を選んだ理由】

- ・金銭面

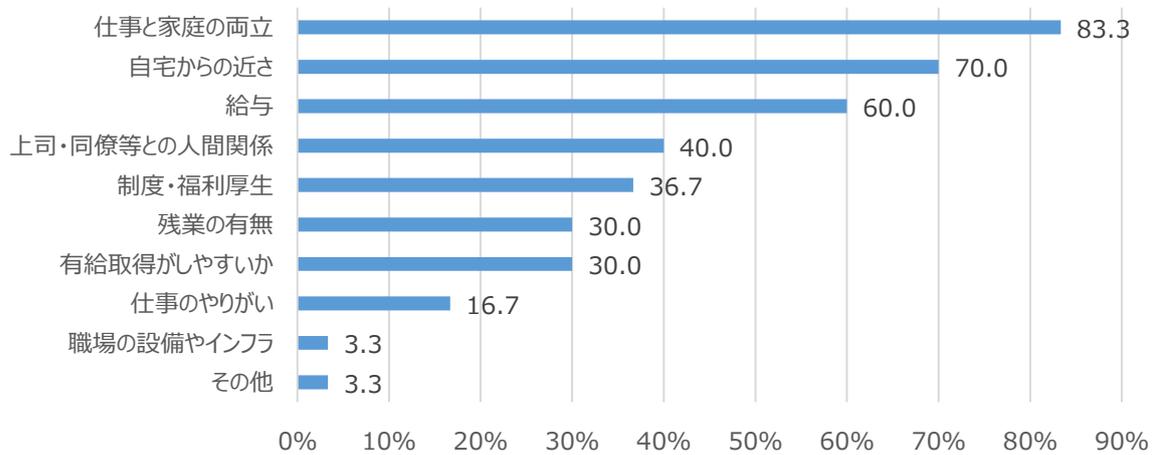
【パート・アルバイト (短時間) を選んだ理由】

- ・子どもが小さいため
- ・本当はフルタイムか正社員希望だが、現実的に厳しい

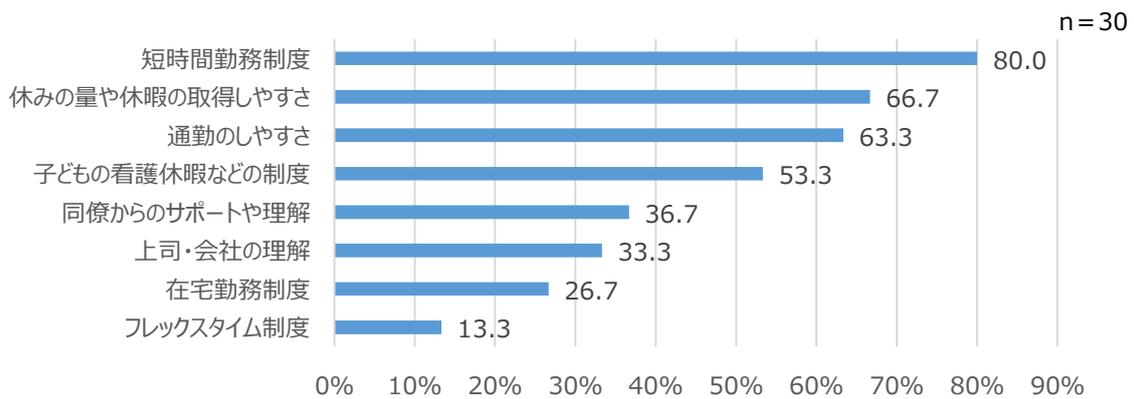
【就職・転職を希望しない】

- ・今の環境に満足している

問 4 : 働く上で重視・優先すること (複数選択)



問 5 : 仕事と家庭の両立のために職場に求めるもの (複数選択)



n = 30